

似たもの同士  
くらべてみよう  
!

## セイヨウタンポポ（外来種）と カントウタンポポ（在来種）

道ばたなどで普通に見かけるタンポポのほとんどは外来種のセイヨウタンポポ。どちらのタンポポも高さ 10～30cm の花茎の先に黄色の頭花がつき、切れ込みのある葉が根の近くから多数出ているなど、よく似ている。



### セイヨウタンポポ

キク科 花期 ほぼ通年  
外来植物 〈ヨーロッパ〉  
明治時代に渡来。黄色の頭花は直径 3.5～5cm で、花は主に春に咲くが、その後も一年中ぽつぽつと咲く。花の基部にある総苞の外片がめくれて垂れ下がる。道ばたなどで見られる。



花の基部にある総苞の外片がめくれて垂れ下がる

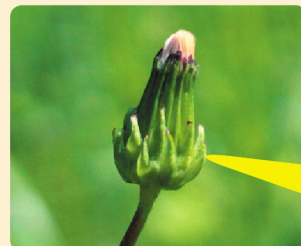
花は一年中、  
ぽつぽつと咲く

最近、雑種もかなりあり、セイヨウタンポポの中にもカントウタンポポの特徴をもつものも多くあると分かってきた。



### カントウタンポポ

キク科 花期 3～5月  
花茎の先に直径 3.5～4cm の黄色い頭花をつける。花の基部にある総苞の外片は反り返らない。春にだけ咲き、宗岡などの限られた場所で見られる。



花は春にだけ咲く

花の基部にある総苞の外片が反り返らない